

各地区本部 大会報告 ②

北海道地区本部定期大会

地区本部は、8月26日(土)ホテル・サンルート札幌にて『第32回地区本部定期大会』を開催しました。

大会は吉永執行委員の挨拶で始まり資格審査・大会成立を確認し、大会議長には、札幌貨物ターミナル駅分会の石田代議員を選出し議事が進められました。

地区本部を代表して菅野委員長は①貨物会社の経営状況②安全の確立③組織強化・拡大の3項目について「28年度鉄道事業は黒字、経常利益は最高益の数字となったが、決して喜べない状況、我々の生活はプラスになっていない。会社の根本や体質を変えなければならぬ。また、自然災害は企業での対応では無理があり、国や自治体の復



旧支援策の拡充・強化が必要である。安全を最優先に考え、ヒューマンエラー・ファクターに対する意識を高めて安全の確保と労働災害をなくする努力をしていかなければならない。組織拡大については組合員一人ひとりが何をすべきかしっかりと意思統一し、現状を認識して全組合員が日常的に他労組の組合員とどれだけ関わりを持っているのが重要である。簡単ではないが地区本部を先頭に全組合員が組織拡大を意識して行動しよう」と話され、最後に「今回で退任することになったが、これまで役員を続けられたのは仲間の支えが合ったからであり、皆さん感謝申し上げたい」と挨拶がありました。続いて来賓挨拶では、JR連合北海道地方協議会会長(JR北労組委員長)、菅原北海道議、藤原札幌市議、交運共済田淵事業本部長、より激励の挨拶がありました。

その後、中央本部大杉委員長から、貨物会社を取り巻く状況や北海道新幹線問題など説明があり、最後に組織は小さいがあらゆる面で自信を持って組織拡大行動を展開してほしいと挨拶がありました。

引き続き小森執行委員より祝電・メッセージ披露のあと、菊地執行委員より2016年度経過報告、協約・協定締結承認、三国書記長より2017年度運動方針(案)、浦島執行委員より2016年度決算報告、2017年度予算

(案)が提案され、質疑に入りました。

おもな意見として「拡大対象者には勇気が必要、それに応えられる分会・仲間の意思統一が必要」「他労組組合員の実態を把握して拡大行動を展開していく」「休憩室や談話室にエアコンを設置してほしい」「5Sの取り組みはどうなっているのか」「各種アンケート調査は積極的に実施すべき」などの発言に対して本部・地区本部より答弁がされ、三国書記長が集約答弁をおこない2017年度運動方針は満場一致で承認されました。その後の役員改選では、これまで地区本部運動を長きに亘り牽引されてきた菅野委員長、平澤副委員長、三国書記長と千葉執行委員、今川会計監査員が退任され、新たな執行部を選出し、吉永執行委員が大会宣言(案)を提起し、満場一



致の拍手をもって採択されました。最後に、菊地新委員長による団結ファンパローで定期大会を終了しました。また新執行部は、大会終了後、第1回執行委員会を開催し、特別執行委員に千葉大樹さんを任命しました。

第32回地区本部定期大会終了後、貨物鉄産労北海道地区本部「第8回退職者連絡会総会」を開催しました。会長の矢野さんから昨年の総会以降の総括と今後の活動計画が述べられ、新たに加入された仲間を紹介して総会は終了しました。なお、定期大会終了後の交流会では場所を移して退職者連絡会総会に参加された諸先輩を交えて交流を深めました。

大会に結集されました組合員の皆さん、大変ご苦勞様でした。今後、各職場において今大会で提起された方針に基づき共に頑張りましょう。



東北地区本部定期大会

東北地区本部は、8月29日秋田市ジョイナスにおいて、第31回定期大会を開催した。

開会の挨拶に続き、議長には平野副委員長を選出し、議事が進行された。執行部を代表して、五十嵐委員長は、7、8月の豪雨災害に被害にあつたか方々にお見舞いを申し上げると共に、輸送の完遂に苦勞した組合員をねぎらった。東北地区の諸情勢を報告し、貨物鉄産労運動を継続していくためにも組織拡大をぜひとも行っていきたいと挨拶をおこなった。



来賓の全交運共済の高橋所長からは、今年は災害が目立つ年であり、豪雨被害が多い、7、8月の災害における共済の給付状況の説明があり、自然災害にそなえての共済の契約状況の確認をお願いする。交運共済も30年たつて契約者の高齢化が進んでいるが交運共済は労働者の皆さんと車の両輪という立場で取り組んでいるので、皆様のご協力を宜しく願うとの挨拶を受けた。

(裏面へ)

今年7月に新しく中央執行副委員長に就任した小笠原副委員長は、会社や他労組の情勢等を報告し、本部と東北地区の懸け橋になっていきたい。組織拡大をおこない、鉄産労働運動を拡大していきたいと挨拶された。

足利書記長より、当面の活動方針案及び2017年度予算案が提案され、質疑・応答に入り、5名の代議員より、

1. ダイヤ改正時への要望。

2. 仙台貨物ターミナル駅検修庫の雨漏りやトイレなどの建物の改善要求。

3. 大館駅構内の除草等の意見や要望等が出された。

執行部から、経協や、団交などで、会社へ働きかけていくとの回答が出され、満場一定で活動方針、予算が承認され、役員改選により新執行部が選出され、大会宣言案が採択され、小笠原新委員長の「団結ガンバリ」で大会を終えた。

新執行部

執行委員長

小笠原浩文 (秋田総合鉄道部)

執行副委員長

平野康夫 (青森総合鉄道部)

秋本鉦 (出向・秋田臨海鉄道部)

書記長

足利博文 (秋田総合鉄道部)

執行委員

渡邊伸一 (仙台総合鉄道部・宮城野派出)

佐藤晴美 (秋田総合鉄道部)

鈴木俊巳 (秋田総合鉄道部)

会計監査

横山聖一 (秋田総合鉄道部)

堀野優 (秋田総合鉄道部)

特別執行委員

五十嵐睦男 (秋田総合鉄道部)

以上 (秋本通信員)

東海定期地区本部大会

8月11日(金)、愛知県一宮市において、貨物鉄産労働東海地区本部の第32回定期地区本部大会が、大会構成員、傍聴、そして多くのご来賓に出席を頂き開催されました。

定期大会は、定刻の5時より高橋執行委員の開会の挨拶で始まり、資格審査委員長より審査結果が報告され、大会が成立していることが宣言されました。

大会議長には、奥田執行員を選出し、地区本部執行委員会を代表して榎執行委員長からは、私たちを取り巻く状況と課題について挨拶がありました。

続いて、ご来賓として、尾内JR連合東海地協議長、小倉同事務局長、安井美沙子(前)参議院議員、安藤退職者連絡会会長、菅沼交運共済東海事業本部長、羽根東海

労金一宮支店長、辻村本部書記長、新井中執からご挨拶を頂き、祝電・メッセージが披露されました。

その後、執行部より、2016年度経過報告・同決算報告、会計監査報告、協約・協定の締結について、加入・脱退について、2017年度運動方針(案・同予算(案)が提示され、質疑を受け荒井書記長の集約答弁が行われ、すべての議題は満場の拍手で承認されました。

その後、新井青年部長より大会宣言が朗読され、満場の拍手で採択されました。最後に、榎執行委員長の発声で「団結がんばろう」を三唱し、第32回定期地区本部大会は、成功裏に終了しました。

大会終了後、同会場にて懇親パーティが開催され、恒例となった青年部によるアトラクションで大いに盛り上がりました。今年も、北労組への支援カンパである「メロン」やユニクロのポロシャツ等、多くの賞品



がゲットされました。ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。新たな一年を共に頑張りますよう!

JR連合静岡県協

静岡地区連絡会主催

「絆」を深める
バーベキュー大会に参加

8月20日静岡市清水区三保松原ハーバルキャンプ場にてバーベキュー大会が開催されました。三保松原といえばあの「羽衣伝説」が有名で天女が羽衣をかけたといわれる「羽衣の松」がある場所です。さらに景色の美しさから日本新三景に指定されている場所です。そんな素敵な場所で開催されたバーベキュー大会に貨物鉄産労からは7名が参加し他単組を含め総勢20名が集まりました。

始めに半田JR連合静岡地本委員長より開会の挨拶をしていただき挨拶のあとは貨物鉄産労の和田君のちよつと緊張した乾杯の音頭でスタートしました。曇りの中での開催となりましたがバーベキューを楽しんだことはもちろん、芝生で遊んだりスイカ割りをして楽しんだりと有意義な時間を過ごすことができました。最後にはビンゴ大会が行われ景品

の中にはドローンもあり会場からは歓声が響きわたりました。残念ながら貨物鉄産労の参加者は当てる事ができませんでしたが他の景品を当てることができ満面の笑みを浮かべていました。

一通り催し物を終え一息ついていたところで驚くことがおこりました。今年サツカーに昇格した清水エスパルス背番号88金子選手が同じ会場でバーベキューをしていました。記念に写真を撮りサインをもらい今年の夏最高のプレゼントをもらうことができました。

JR連合の仲間達と絆を深め楽しい時間を過ごし夏の思い出の1ページにしつかり残すことができました。参加してくれた皆様ありがとうございました。



名古屋支部 家族レク開催 ビアガーデンで楽しく 交流しました

6月20日(土)時より名古屋市「名鉄百貨店ビアガーデン」において、貨物鉄産労名古屋支部の「家族レク」が、組合員・家族総勢80名が参加し開催されました。

当日は、場所が名鉄百貨店屋上ということで、気持ち良い涼しい風が何とも言えない雰囲気を出し絶好の

ビアガーデン日和になりました。家族レクは、橋爪名古屋支部長の開会のあいさつ、新井地本執行委員の乾杯で始められ、終始和やかに楽しく過ごすことができました。



みなで暮らしをガード
交運共済

衝突、盗難、落書き...
気をつけていても
どうしようもない
車両損害のために。

愛車のために万が一の補償
マイカー共済 (自動車総合補償〈基本補償・車両損害補償〉)